

■ 1年間の反省を！

本日の修了式をもって今年度が事実上終わり、4月からは新学年に進級することになります。春休み期間中に春期講習が実施され、参加する生徒諸君もいることと思いますが、ほとんど宿題等がない諸君もいるかと思います。特に宿題等がない諸君は、春休み中にこの1年を振り返り、苦手科目を中心にしっかりと復習をしておくことを勧めます。模擬試験や定期考査の問題を使って復習するのも効果的かと思います。特に模擬試験の解答・解説は有効に活用してほしいと考えています。



さて、2年生は進路活動の本番までであると言う間です。ぜひ、時間を有効に使って準備を進めていきましょう。大学・短大への進学はもちろん、どの道に進むにしても、何らかの基礎学力は一定程度問われますので、少しずつ机に向かう習慣をつけておいてほしいと思います。春休み中にオープンキャンパスが開催される学校もあるかと思われます。2月にリクルートの講演会を行い、オープンキャンパスに参加する際のチェックポイントについてまとめる機会がありました。やりっ放しにしないでぜひ活用して参加してほしいと思います。

1年生も4月から2年生です。まだまだ進学や就職は遠いものという感覚があるかもしれませんが、少しずつ意識を高め、大学、短大、専門学校のオープンキャンパスに早めに参加するようにしましょう。

いずれにしても、有意義な春休みとし、4月の始業式の際に元気に登校してくることを期待しています。

■ 新高3保護者対象進路活動説明会について

例年3月中旬ごろに実施していた保護者対象進路活動説明会(現高校2年生、4月から新高校3年生)を新年度が始まってすぐの4月10日(木)の午後6時から聖賢堂で開催する運びで予定しております。令和6年度の進路実績についてお伝えした後、進学と就職に分けて、今後の活動の進め方についてお話



する予定です。特に進学については、どのくらいの費用が必要になるか、どのような奨学金があるかなどについて重点的に説明いたします。野球等で地元を離れて本校に入学されている生徒の保護者様におかれましては、いろいろとご不安もおありかと存じます。学校としましてはできる限り、サポートして参る所存です。運動部に所属している生徒は少なくとも夏休みごろまで活動が続き、その後、切り替えて進路活動を進めていくことになるかと思われます。いずれにしても、早くから準備を進めていくことが大事になります。

■合格体験記

3年生の合格体験記。今回は、上智大学に合格した3年4組の鈴木麻友さんと神奈川工科大学に合格した3年2組の杉本琥君です。これまで取り組んできたことなど、ぜひ参考にしてください。

【合格体験記】 鈴木麻友さん（3年4組）
上智大学文学部新聞学科（公募制推薦）

私は上智大学文学部新聞学科に合格することができました。本当に嬉しかったです！ 私は高校1年生の頃から上智大学に行きたいと思っていたため、早いうちから対策していました。私が上智大学を目指すきっかけになった先生が



います。英語科の木幡信一郎先生です。木幡先生の英語の知識はもちろん、幅広い分野の話ができる姿に私は密かに憧れていました。木幡先生のおかげで英語の授業がより楽しくなったり、あらゆる物事に関心を持てるようになったり、会話での話題の幅が広がったりした気がします。木幡先生は私の進むべき道を教えてくれた最高の先生です！

私はジャーナリズムについて詳しく学びたいと思っていたため、様々なイベントに参加しました。その中でも2つの印象的なイベントがあります。1つ目は福島県主催で行っているジャーナリストスクールに参加したことです。実際に現地に取材に行き、メモをもとにグループで1つの新聞を作成しました。どこの部分を切り取るかによって伝わり方が大きく変わってしまうため、作成するまでたくさんの時間がかかりました。最後にはジャーナリストの池上彰さんに新聞を見ていただきました。厳しい評価がたくさんありましたが、貴重なご意見をいただき、良い経験になったと思っています。

2つ目は「TBS アナウンサー体験」に参加したことです。将来、アナウンサーを目指しているため、早いうちから現場で体験ができ、とても嬉しかったです。プロのアナウンサーから熟練の技術を教えていただきました。発声練習や実際のスタジオでの原稿読みを体験することができました。「アナウンサーになりたい！」という思いがさらに強くなったと思います。

上智大学には公募制推薦でチャレンジしようと考えていたため、上記の2つの体験活動以外にも様々な課外活動に積極的に取り組みました。

（次ページに続く）

私が上智大学に合格した理由として考えられることは、大学への執着心がか
なり強かったことにあります。オープンキャンパス以外にも東京に行っ
た際には必ず上智大学に足を運んでいました。また、上智大学オリジナルの
「ソジャー（※ソフィアジャージの略称。ソフィアは上智大学の略称）」とい
うジャージを受験前から購入したり、オリジナルの文房具などを毎日お守りの
ように持ち歩いたりしていました。私の学習に対するモチベーションが上がっ
た最高の方法でした。受験当日は先生方からいただいた手紙や友達などの応援
メッセージを見てリラックスしていました。あまり緊張せずに試験に臨めたと思
います。特に面接がとても楽しく受けられました。

12月12日の合否発表の日、画面上に出た「合格」を見た際、嘘かと思い何
度もログインしてしまいました。これまでの努力が実った嬉しさで涙が止まら
なかったです。受験まで全力でサポートしてくださった先生方、本当にありが
とうございました。4月から「ソフィアン」として楽しいキャンパスライフを
送っていこうと思います！！

【合格体験記】 杉本 琥君（3年2組）

神奈川工科大学情報学部情報工学科（指定校制推薦）

私は、神奈川工科大学の情報学部情報工学科
に合格しました。入試形態は指定校制推薦で、
試験内容は約10分間の面接のみでした。面接
は、自分では練習不足とならないようにしっか
りと取り組んでいるつもりでいました。しかし、
本番では緊張もありましたが、それも言い訳に
はならないほど、納得できるような良い内容で
はありませんでした。



まず、根本的に知識が不足していました。それを補える応用力もなく、面接
官の方たちにも嘲笑されたように感じました。会場までの案内の方たちの中
には優しく励ましてくれる方もおり、そのおかげか、楽な気持ちにもなれ
ました。しかし、実際に試験場に行くと極度に緊張してしまいました。

今、改めて考えると、受験に備えて志望理由を考える際に、将来目指してい
る業種について、ある程度その業界で有名な企業を言えるようにし、その理由
も明確にしておくべきだったと感じています。

面接が終わった後は、思いつめることはせずに、「その時やれることはやっ
た」という思いでただただ合格を願うことしかできませんでした。しかし、無
事に合格することができました。

進路活動で関わってくださった方々には、とても感謝しています。本当にあ
りがとうございました。後輩のみなさんも頑張ってください。

■ 天皇皇后両陛下のイギリス訪問から

昨年6月に天皇皇后両陛下がイギリスを訪問されました。チャールズ国王から国賓として招待されたことによりますが、公式行事が終わった後、両陛下が留学されたオックスフォード大学を私的に訪問されました。



筆者は大学生の頃、天皇陛下（当時は皇太子）が出版された『テムズとともに』という本を読みました。オックスフォードでの学生生活を満喫されている様子、日本では考えられない失敗談、オックスフォードの情景などが細かく描写されていて印象に残っています。オックスフォードでの2年間は、日本では得られない自由な時間を楽しまれ、帰国直前には「もうこのような時間は2度と得られない」ことをかみしめられていました。皇族というお立場、まして人一倍責任感のお強い天皇陛下ですから、帰国後は一つ一つの公務にしっかりと取り組んでいかねば・・・というお気持ちを持たれていたことでしょう。2年前に復刊されたのを機に筆者も『テムズとともに』を読み返してみましたが、改めて掲載されている写真などからオックスフォード大学の建造物の荘厳さを感じました。筆者も1度で良いので現地に行って雰囲気を感じてみたいと思っています。

さて、天皇陛下がオックスフォード大学を訪問された際に、ご自身が2年間の滞在中に過ごされたマートン・コレッジ（マートン・カレッジ）の学生寮に雅子皇后と訪ねられたときのご満足そうな様子が印象に残っています。学生寮の自室だった部屋を訪ねられた際に、3階の窓から雅子さまとともに宮内庁の関係者に向かって笑顔で手を振っておられました。マスコミには非公表での訪問だったようで、このときの写真は宮内庁の関係者のみが撮影していて何とも印象深いシーンでした。おそらく留学していたお若い頃のご記憶が蘇るとともに、その部屋に雅子さまと訪問できたことの満足感が伝わってきました。

天皇陛下は先の『テムズとともに』の復刊版で、最後に「雅子とともにいつかオックスフォードの地を再訪してみたい」との希望を述べられていました。それが実現した満足感はお強かったことでしょう。筆者が大学時代に『テムズとともに』を読んでいたときにも感じていたのかもしれませんが、少なくともオックスフォードでの学生生活というのは、日本の大学での生活とはだいぶ趣が異なるように感じました。先にも記しましたが、荘厳な建造物が並ぶ学び舎で品のある生活をされているように感じてなりません。イギリスの他の大学のことを知っているわけではありませんので何とも言えませんが、これはオックスフォードならではの醍醐味と言えるのかもしれません。

先日、成年皇族になられた秋篠宮家の長男、悠仁さまが初めて記者会見に臨まれましたが、伯父の天皇陛下やお父様の秋篠宮さまのように将来的にオックスフォード大学へのご留学も検討されるのかもしれませんが。天皇家の長女、愛子さまは学習院大学ご卒業後、日本赤十字社への就職という選択をされましたが、果たしてどうなのでしょう？ まずは進学される筑波大学での学生生活をどのように過ごされるかを国民は注目していることでしょう。それにしても、高校卒業前の時期のご立派な会見でした。 文責：清水聖（進路指導主事）